

本校高等部教員が令和2年度聴覚障害教育振興奨励賞を受賞しました

本校高等部普通科の理科担当教員が中心となって取り組んでいる「高大連携プログラム」の取組を、高等部普通科の久川浩太郎教諭がまとめ、実践研究論文として聴覚障害教育振興奨励会に応募しました。



受賞したのは「理科を中心とした高大連携の意義と効果ー公開講座への参加と研究者招へい講座における10年間の実践ー」というテーマで、聴覚障害生徒が公開講座に参加したり、本校を会場にした研究者招へい講座を実施したりする際の大学との連携の工夫や実施の意義や効果をまとめました。

本校高等部普通科では、平成23年度から様々な大学から講師をお招きし、理科に関する講座を実施しています。これは、研究者から講義・実験を行ってもらうことで、既習事項の理解を深めたり、様々な分野の興味関心を高めたり、進路意識の醸成をしたりすることを目的としています。また、大学の研究室が主催する「ひらめき☆ときめきサイエンス」に本校生徒が参加する場合も、本校教員が手話通訳として支援するなどの連携を行っています。高大連携の詳細は下記リンクからご参照ください。



高等部普通科理科における高大連携の取り組み

<https://www.deaf-s.tsukuba.ac.jp/futuuka/banner/cooperation.html>